

PLAYTECH

PAT100

ギターアンプ用アッテネーター

取扱説明書

Ver. 1.0

製品仕様

最大許容入力	250W
入力端子	アンプ用 フォンジャック×1 電源アダプター用入力端子
入力インピーダンス	8Ω、16Ω
出力端子	PA機器／ミキサー用:XLR(ローインピーダンス、バランス)×1 ライン: フォンジャック(アンバランス)×1 スピーカー: フォンジャック(アンバランス)×1 ヘッドホン: フォンジャック×1
電源供給方法	専用電源アダプター(付属) 極性: センタープラス
外形寸法(W × H × D)	235 × 88 × 179 mm
質量	2.7 kg
使用環境条件	温度範囲: 0～40 ℃ 相対湿度: 20～80 % (結露なきこと)

株式会社サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222

<https://www.soundhouse.co.jp>

E-mail: shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、PAT100アッテネーターをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本ユーザーマニュアルには、本製品を安全に操作するための重要な情報が含まれています。すべての安全上の注意および指示をよく読み、それに従ってください。このマニュアルは将来の参照のために保管し、本製品を使用するすべての方が閲覧できるようにしてください。本製

品を他のユーザーに譲渡する場合は、このマニュアルも必ず渡してください。

当社の製品の仕様およびユーザーマニュアルは予告なく変更される場合があります。

安全に関する注意事項

使用目的

本製品は、ギターアンプの出力レベルを減衰させるために使用します。本ユーザーマニュアルに記載されている目的のみにご使用ください。それ以外の使用や他の動作条件下での使用は、人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。

本製品は、十分な知識と経験を持つ方が使用するよう設計されています。それ以外の方が使用する場合は、安全に対して責任を持つ方の監督または指導のもとで使用してください。

けが及び窒息の危険性

包装材や小さな部品は、誤飲により窒息やけがの原因となる恐れがあります。子供が本製品を使用する際は、必ず保護者の目の届くところで使用させてください。

小さな部品（ノブなど）が外れた場合はすぐに回収し、子供の手の届かない場所に保管してください。

感電の危険性

内部に高電圧となる部分があります。メンテナンスパネルを開けないでください。感電やけがにつながるおそれがあります。なお、改造によって生じた損害は、いかなる場合も保証の対象外となります。また、カバー、安全装置などが欠損・破損した状態では、本製品を使用しないでください。

スピーカーまたはヘッドホンによる聴覚障害

スピーカーやヘッドホンを接続した状態で、一時的または永久的な聴覚障害を引き起こすおそれのある音量を出力する可能性があります。問題のなさそうな音量でも長時間の聴取により、聴覚にダメージを与える場合があります。常に大きい音量で使用しないでください。耳鳴りや聴覚に異常を感じた場合は、ただちに音量を下げてください。

高電圧による電源アダプターの損傷

本製品の一部の機能は電源アダプターで動作します。不適切な電圧や高電圧のピークによって、電源アダプターが損傷を受ける可能性があります。最悪の場合、過電圧はけがや火災の原因となるおそれもあります。電源を接続する前に、電源アダプターの電圧仕様がコンセントの電源と一致しているのを必ず確認してください。電源アダプターは、漏電遮断器（FI）によって保護されたコンセントからのみ使用してください。意図しないトラブルが起こったときのために、電源プラグや電源スイッチを容易に操作できる状態にしておいてください。雷雨が近づいているときや長期間使用しない場合は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

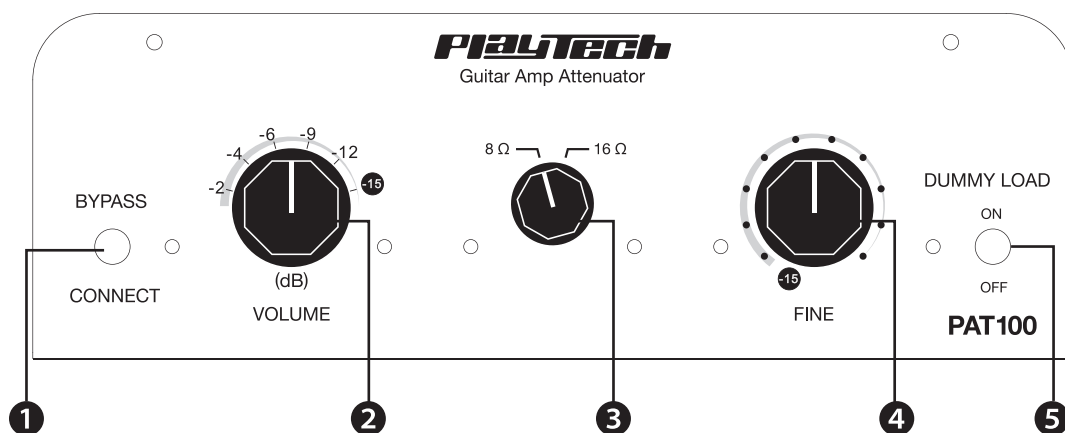
不適切な電源アダプターの使用による本製品の損傷

不適切な電源アダプターを使用した場合、過電圧や極性の誤りによって本製品が損傷する可能性があります。状況によっては、けがや火災の危険も生じます。電源アダプターの電圧仕様および極性（+/-）が、本マニュアルおよび本製品に記載されている仕様と一致しているかを必ず確認してください。

主な特徴

- ・ 真空管アンプ用の抵抗型アッテネーター。リハーサルルーム、レコーディングスタジオ、ステージでの使用に最適です。
- ・ パッシブアッテネーターなので、電源不要で使用できます（ヘッドホンを使用する際は付属の電源アダプターを使用する必要があります。）
- ・ 静音ファンを搭載しており、夜間や静粛性が求められる環境でも使用できます。

接続とコントロール



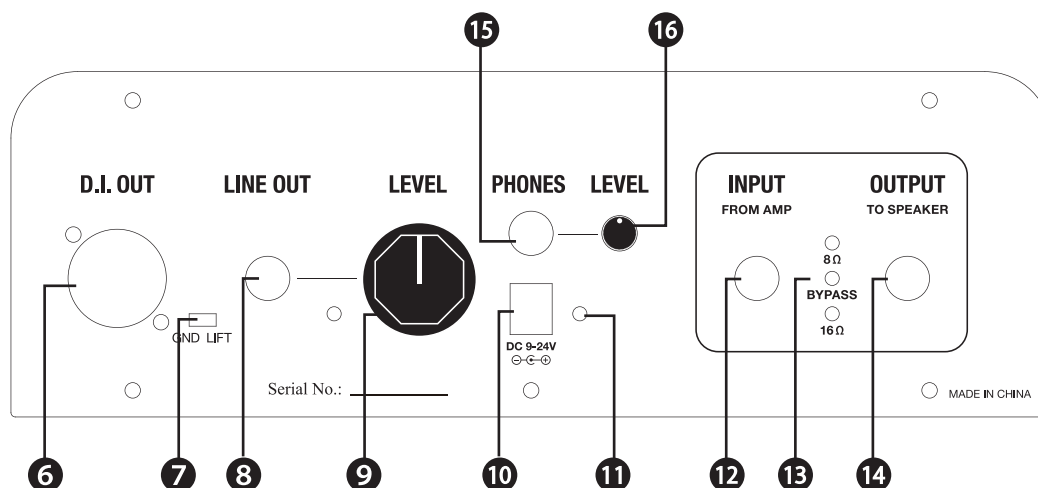
- ① [BYPASS] スイッチが上位置 (BYPASS) の場合、本機をバイパスし通常通りキャビネットから音が鳴ります。下位置 (CONNECT) にすると本機の機能が有効になります。
- ② [VOLUME (dB)] 本製品がアッテネーターとして機能しているときに、スピーカー出力の音量を調整します。時計回りに回すと、出力信号の音量が2～3dBずつ減衰します。「-15」に設定すると、[FINE] コントロールが有効になります。
- ③ [8 Ω / 16 Ω] インピーダンス設定用スイッチ。本製品、接続されたアンプ、およびスピーカーのインピーダンス設定は、すべて同じ値に設定する必要があります。
- ④ [FINE] スピーカー出力の音量を細かく調整します。POWERコントロールを-15dBに設定し、時計回りに回すと、出力音量が4～5dBずつ減衰します。
- ⑤ [DUMMY LOAD] 動作モード選択用トグルスイッチ。スイッチが上位置 (ON) では、本製品はロードボックス（スピーカー出力なし）として機能します。スイッチが下位置 (OFF) では、本製品はアッテネーター（出力減衰器）として機能します。DUMMY LOADをOFFにするときは、必ず背面の**OUTPUT TO SPEAKER**端子にギター用スピーカーを接続してください。DUMMY LOADをONにするときは、**OUTPUT TO SPEAKER**端子からギター用スピーカーに接続されているケーブルを抜いてください。

アッテネーター（ギター用キャビネットからの音量を落とす）として使用する場合

- (1) DUMMY LOADスイッチ⑤を**OFF**にします。
 - (2) 背面⑭にスピーカーケーブル経由でギター用キャビネットを接続します。
- ※ギター用キャビネットを接続しないと、アンプに負担をかけ破損する可能性があります。

ロードボックス（ギター用キャビネットから音声を出力しない）として使用する場合

- (1) DUMMY LOADスイッチ⑤を**ON**にします。
- (2) 背面⑭からケーブルを外します。



- ⑥ [D.I. OUT] PA機器またはミキサーに接続するためのローインピーダンスXLR出力端子。
- ⑦ [GND LIFT] グランドループによるハムノイズを回避するために接地を切り離すスイッチ。
- ⑧ [LINE OUT] PA機器やミキサーに接続するためのライン出力端子。
- ⑨ [LINE LEVEL] ライン出力の信号音量を調整するためのノブ。
- ⑩ [POWER] 電源アダプター接続用入力端子。ヘッドホン使用時は、電源アダプターを使用してください。**(必ず付属の電源アダプターを使用してください。)**
- ⑪ [AUX POWER] ステータスLED。オプションの電源アダプターで動作しているときに点灯します。
- ⑫ [INPUT] ギターアンプ接続用入力端子。本製品の設定と接続されるアンプのインピーダンス設定は必ず同じにしてください。アンプの損傷を防ぐため、必ずアンプの電源がOFFの状態でご本製品を接続してください。また、本製品はアンプから電源供給されます。
- ⑬ [8 Ω / BYPASS / 16 Ω] ステータスLED。各機能が有効になると対応するLEDが点灯します。
- ⑭ [OUTPUT] ギター用のパッシブスピーカーを接続するための出力端子。
- ⑮ [PHONES] ヘッドホンに接続するための出力端子。
- ⑯ [VOLUME] ヘッドホン出力の音量調節。

クリーニング

本製品の外部部分は、定期的に清掃してください。湿気の多い場所、煙の多い場所、特に汚れやすい環境では、製品に汚れが付着しやすくなります。

- ・ 柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・ 頑固な汚れは、よく絞った布で取り除いてください。
- ・ アルコールやシンナーを含む洗剤は絶対に使用しないでください。

ファングリル

本製品のファングリル部分には、定期的にホコリなどの汚れがないか確認し、清掃してください。清掃の前には、本製品の電源を切り、電源に接続されている場合は電源ケーブルを抜いてください。

中性・溶剤を含まず、研磨剤を含まない洗剤のみを使用してください。糸くずの出ない、よく絞った布で本体を拭いてください。